

別添 6-5 (第 3 の 2 関係))

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 佐賀県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	1 経営体	1 経営体	100%	A	44, 000	44, 000	令和 2 年度 目標達成済み
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	150, 000	150, 000	
事業の成果 令和 2 年度に畜産 G A P 認証取得予定だった経営体が被災され、取得を断念されたことから、令和 3 年度から国庫事業を活用していない。 なお、県単独事業により普及啓発資料（別添参照）を作成し、関係機関に配布するとともに、畜産農家への意識啓発を図った。							
都道府県による評価 1 経営体が畜産 G A P 認証取得に向けて活動していたが、令和 2 年 7 月豪雨により被災され、一部の鶏舎が全壊し、令和 2 年度の認証取得を断念されたため、「II 日本版畜産 GAP 等認証の取得拡大」の成果目標を達成できていない。 現在、GAP 認証取得意向農家への具体的な支援はできていないものの、令和 3 年度から県費による畜産 G A P 指導員の資格更新や、啓発資料の作成を行っており、今後も認証に向けた普及活動を行っていく。							
国による評価 畜産 G A P 等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和 4 年度に目標が達成（畜産 G A P 認証の取得等経営体数：1 経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 6-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 長崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	18 経営体	12 経営体	67%	C	386, 480	386, 480	令和 2 年度 目標達成済み
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	
事業の成果 令和 3 年度においても引き続き指導員の育成に取り組んだ結果、新規指導員 6 名、資格更新者 6 名を確保し、さらなる指導体制の強化につなげることができた。							
都道府県による評価 令和 3 年度においても、畜産 G A P 等認証の取得拡大のための活動を推進したが、目標達成には至らなかった。							
国による評価 畜産 G A P 等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和 4 年度に目標が達成（畜産 G A P 認証の取得等経営体数：1 経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 長崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	12 経営体	15 経営体	125%	A	429, 000	429, 000	
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	
事業の成果 令和3年度においても引き続き指導員の育成に取り組んだ結果、新規指導員6名、資格更新者6名を確保し、さらなる指導体制の強化につなげることができた。							
都道府県による評価 畜産G A P 指導活動の推進については、目標値を上回って達成することができたものの、畜産G A P の必要性に理解を示す向きではない農家が多かったため、畜産G A P 等認証の取得拡大については目標を達成することができなかった。							
国による評価 6名の指導員の育成及び6名の指導員資格更新を行うなどにより、指導員は24名（令和3年度末現在、前年度末より3名増）となり、県内の畜産G A P 指導体制の強化が図られた。 成果目標のうち畜産G A P 等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和4年度に目標が達成（畜産G A P 認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 熊本県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	11 経営体	12 経営体	109%	A	2, 202, 728	2, 202, 728	
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	4 経営体	1 経営体	25%	D	170, 515	170, 515	
事業の成果 ・指導員研修の開催を通じ、県や団体等の職員を指導員として養成。また、指導員の指導力向上のための研修会を開催し、県内の指導体制を強化し、指導活動を行った。 ・県内の畜産G A P チャレンジ認証農場 1 農場が取組を進め、J G A P 認証取得を新たに取得。県内での認証農場は合計 6 農場となった。							
都道府県による評価 「I 日本版畜産G A P 指導活動の推進」については、目標を上回る実績となった。一方で、「II 日本版畜産G A P 等認証の取得拡大」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、構築会議が開催できない状態が長期化。また、冬期の全国的な鳥インフルエンザの発生により年度中の審査受験を見送る農場があったこと等の理由により目標未達となった。							
国による評価 1 3 名の指導員及び 3 名の団体認証指導員の育成を行うなどにより、指導員は 107 名（うち団体認証指導員 12 名、令和 3 年度末現在、前年度末より 16 名増）となり、県内の畜産G A P 指導体制の強化が図られた。 成果目標のうち畜産G A P 等認証の取得拡大については実績が低いことから、事業実施主体では令和 4 年度に目標が達成（畜産G A P 認証の取得等経営体数：3 経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 大分県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	16 経営体	16 経営体	100%	A	99, 000	99, 000	
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	1 経営体	0 経営体	0%	D	0	0	
事業の成果 ① 指導者が各農場を回り、パンフレット等を利用して認証取得希望農家の増加に向けた普及活動を実施した。 ② 指導員、生産者向け研修を実施し、認証取得を推進した。							
都道府県による評価 上記により、日本版畜産 GAP 指導活動が推進され、日本版畜産 G A P 等認証の取得が拡大した。							
国による評価 2名の指導員の育成を行うなどにより、指導員は29名（令和3年度末現在、前年度末より1名増）となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。 成果目標のうち畜産GAP等認証の取得拡大については実績がないことから、事業実施主体では令和4年度に目標が達成（畜産GAP認証の取得等経営体数：1経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 6-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和2年度）

都道府県名 宮崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指 導 活 動の推進	5 経営体	3 経営体	60%	C	840, 495	840, 495	令和 2 年度で 評価終了
II 日本版畜産 G A P 等 認 証 の取得拡大	3 経営体	2 経営体	66%	C	600, 480	600, 480	
事業の成果 事業により、畜産 G A P 指導員養成による、畜産 G A P 指導体制の強化を実施した。 また、J G A P 認証 2 件、G L O B A L G A P 更新 1 件をはじめ、認証意向のある経営体に対し、推進及び指導を実施した。							
都道府県による評価 令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大及び鳥インフルエンザ発生の影響により、G A P 認証審査の先送り等があったことから、目標未達となった。令和 3 年度も引き続き新型コロナウイルスの影響がある中、G A P 認証に向けた推進を行い、2 件の新規取得となった。							
国による評価 宮崎県では 2021. 12 月に高病原性鳥インフルエンザの発生、隣県でも 3 回発生するなど防疫対策により人の移動制限等の中で、指導員は家畜防疫業務等への従事を優先せざるを得ず、畜産 G A P に対する指導が十分に行えなかった中において、新たに畜産 G A P 認証の取得等経営体数：2 経営体（全体目標 3 経営体に対して認証取得経営体数 2 経営体）されたことは評価できる。							

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 宮崎県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	5 経営体	3 経営体	60%	C	755, 118	755, 118	
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	3 経営体	0 経営体	0%	D	873, 500	873, 500	
事業の成果 事業により、畜産G A P指導員養成による、畜産G A P指導体制の強化を実施した。 また、J G A P認証（県立農業大学校）・更新各1件、G L O B A L G A P更新1件をはじめ、認証意向のある経営体に対し、推進及び指導を実施した。							
都道府県による評価 新型コロナウイルス感染拡大による行動制限の影響により、G A P認証取得に向けての取組が延期され、目標未達となった。							
国による評価 5名の指導員及び6名の団体認証指導員（（内部監査員）の育成を行うなどにより、指導員は27名（うち団体認証指導員8名、令和3年度末現在、前年度末より31名減（行政機関の大幅な異動による））となったものの、各地域には熟練した指導員を配置するなど対応を行った。 成果目標のうち畜産指導活動の推進については、未達成であったことから、目標が達成されるよう農政局へ改善計画を提出させる。 成果目標のうち畜産G A P等認証の取得拡大については、実績が低いことから、事業実施主体では令和4年度に目標が達成（畜産G A P認証の取得等経営体数：3経営体）されるよう農政局へ改善計画を提出させる。							

別添 7-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和3年度）

都道府県名 鹿児島県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当 額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活 動の推進	14 経営体	14 経営体	100%	A	304, 960	304, 960	
II 日本版畜産 G A P 等認証 の取得拡大	2 経営体	2 経営体	100%	A	237, 273	237, 273	
事業の成果 ・日本版畜産G A P指導活動の推進について、事業年度中に 14 経営体への畜産G A P指導を行った。 ・日本版畜産G A P等認証の取得拡大について、事業年度中に新規に承認された 2 経営体を含め、本県の畜産G A P認証の取得等経営体数は 14 経営体となった。							
都道府県による評価 畜産物の安心・安全を確保し、より良い生産工程管理を実現する「J G A P家畜・畜産物」の取組推進のため、 ・日本版畜産G A P指導活動の推進について、事業年度中に新規に承認を取得した 2 経営体を含め、14 経営体への畜産G A P指導を行った。 ・日本版畜産G A P等認証の取得拡大について、事業年度中に新規に承認された 2 経営体を含め、本県の畜産G A P認証の取得等経営体数は 14 経営体となった。							
国による評価 6名の指導員の育成を行うなどにより、指導員は44名（令和3年度末現在、前年度末より8名増）となり、県内の畜産G A P指導体制の強化が図られた。 成果目標の達成状況は計画とおりであることから、畜産G A Pの拡大及び推進に寄与したものと史料される。							